



ワークショップから版

《作成・発行》

小田原市

文化部文化政策課

& 空間創造研究所

平成 23 年 8 月 26 日

歩いているだけで汗がにじんでくる真夏の8月8日、埼玉県にある『富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ』のホール視察を行いました。平日だったにも関わらず、市民検討委員会からは 15 人の方が参加し、市の職員 10 名、その他事務局スタッフ2名、市民ホール基本計画策定専門委員会から勝又委員の合計 28 名が見学を行いました。キラリ☆ふじみ事業担当リーダーの方、施設設計から劇場技術に関われ、開館年に運営アドバイザーを務めた近江哲朗さんに施設の説明をしていただき、設計時から現在の様子まで、施設のみならず事業や運営面まで細かくお伺いすることができました。

市民検討委員会の皆さんもホールを詳しく見て歩き、これからの市民ホール基本計画市民検討委員会で役立つ発見がたくさんあったのではないのでしょうか？

富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみとは??

開館日：平成 14 年 11 月 1 日 / 延床面積 7,358 ㎡ / メインホール 802 席 (楽屋 5 室) ・マルチホール 255 席 (楽屋 4 室) / 展示室 / アトリエ / 会議室 / 水の広場など

【キラリ☆ふじみと市民参加】

平成 9 年に建設検討委員会が発足。平成 12 年の運営検討委員会には公募により市民約 30 名が参加しました。他、開館記念事業実行委員会への市民の参加(公募)や施設愛称募集、キラリ☆ふじみサポーターを募集するなど、市民参画の手法を多く取り入れています。



キラリ☆ふじみを見学しよう!!



まず、メインホールに集まり施設の概要や見学のポイントなどをお伺いし、その後、実際にホールを見て回りました。

☆☆☆メインホール☆☆☆

舞台や 2 階客席などからの見え方を確認しました。メインホールの冷暖房用吹き出し口は客席背面で背もたれと一体化されており、効率的に空調を整えることができるようになっています。客席は放射線状になっており、どの客席からも舞台が観やすい工夫がしてあります。希望者は舞台すのこの上にも昇り、パトンなどがどのように吊られているのかも確認しました。



☆☆☆マルチホール☆☆☆

小ホールは平土間形式になっており、客席は電動式で後方の格納庫から出てきます。舞台の一部は手で 20cm 刻みで高さを調節することができます。その機能を使って客席を広げたり、客席と舞台に高さの違いを出すなど、利用者の工夫により多様な空間構成が可能となっています。また、小ホール入口側の側壁は全面開放できるようになっており、小ホールとロビー、水の広場と屋外へ連続する一体の空間として利用が可能です。



写真 1:客席中央後方から舞台を見た様子。／写真 2:客席いす後ろの空調吹き出し口。
写真 3:舞台上手袖。平台や箱馬などの舞台設営に必要な道具が置いてあります。
写真 4:客席 2 階席／写真 5:舞台から客席を見た様子。／写真 6:舞台すのこの上。

写真 7:可動収納客席稼働中の様子。客席段差が出た後にいすがセットされます。
写真 8:舞台側高さ可変中の様子。段差の間のすきま部分は専用の板で隠すことができます。

☆☆☆その他の施設☆☆☆

写真 9:水の広場
写真 10、11:スタジオ
写真 12:楽屋
写真 13:展示室

☆☆☆Q&A☆☆☆ ～皆さんからの質問と答えをご紹介します～

Q:自主事業と貸し館事業の割合はどのくらいですか？

A:比率にすると自主事業 4 割・貸し館事業 6 割程度になると思う。主催事業が年間で大小あわせて 50 本程度あり、自主事業と貸し館利用の割合をどうするか難しい問題である。市民利用のことも考えながら自主事業のプログラムを組んでいっている。

Q:芸術監督と館長はどうやって決めましたか？また、館の職員に市の職員はいますか？

A:芸術監督は公募で集まった 26 人の中から決定した。館長は以前は市の職員だったが、平成 22 年度からは、民間から公立ホールの運営や舞台芸術に関する経験が豊富な人物を登用している。

Q:芸術監督はどのようなことを行っているのですか？

A:館長と協力しながら年間のプログラムを作っている。ただ単純に決めるのではなく、周辺の地域性なども考慮の上、キラリ☆ふじみならではのプログラムを考えている。

Q:キラリ☆ふじみにはカフェやレストランがありませんが、あったほうがいいと思いますか？

A:あったほうが良いと思うが、カフェやレストランが赤字になっているホールもあると聞く。現状を考えるとそこまで手がまわらないかと思う。ただし、自主事業の際には近隣の和菓子屋さんやコンビニが臨時で出店している。

Q:これから、市民ホールをつくる上で、気をつけることはありますか？

A:「誰がどういうことをしたいのか」をしっかり考えること。キラリ☆ふじみの場合は貸館も大事だが、自主事業を行っていくことも大事であり、そのためのハードが求められた。また、ハードだけではなく、意欲をもって働くスタッフを揃えることも重要である。ハードにおいては、自分たちが今欲しいものを求めるだけでは、視野が狭くなってしまい上手いかなと思う。自分達が利用することだけを考えるのではなく先を見越し、次世代そしてまた次の世代まで喜んで利用できる施設をつくるのが大切。

☆☆☆ひとことアンケートから一部をご紹介します☆☆☆

今日はとても有意義な一日でした。家を建てる時、何度もモデルハウスに足を運びましたが、実際住んでいる人に話を聞くのが一番だと思いました。実際使ってみてこそその参考だと思います。／水の広場が魅力のホールだった。小田原でホールを作るなら、劇の休憩や終わった時、窓から桜が見えたりしたら最高だと思った。／色々な工夫がされ、色々な使い方ができるようになっているが、使いこなせるようなグループ又はアドバイザーが必要だと感じた。／スタジオの設置がよいと思った。大きな収益の行事でなくとも常にキラリには人が来ていると感じる。／レストランは、なくても良いと思う。／設備等だけでなく、使っている様子や舞台うらなど見学できると良いと思いました。また他市のボランティアや市民団体などと交流できると良いのでは。